

2016年度 全国大会 企画セッション テーマ募集のご案内

教育システム情報学会 全国大会委員会
委員長 小松川 浩

企画セッションは参加者にとって関心の高く、より詳細な研究テーマに焦点をあてたセッションです。以下のようにテーマを公募いたします。奮ってご応募ください。テーマが採用された方はオーガナイザになっていただき、発表募集の広報やプログラム作成、セッションの実施を行っていただきます。なお、お申し込みいただいた内容にしたがって全国大会委員会プログラム部会で審査をし、採否を決定させていただきますので、ご了承ください。

企画セッションの講演原稿のフォーマット、投稿方法、セッションあたりの発表数、講演時間等は一般セッションと同じです。ただし、オーガナイザの裁量で1スロットにつき講演1件分を議論の時間にあてることができます。セッションの時間帯やスロット数は、大会プログラム作成時に全国大会委員会大会プログラム部会にて講演申込み数や全国大会全体の構成に応じて決定いたします。講演申込みは大会 Web の講演申込みサイトより、一般から公募いたします。また、企画セッションでの発表も大会奨励賞の対象となります。

企画セッションのテーマは一般セッションよりも特化したテーマに焦点があてられていることが望めます。テーマご提案の際には、一般セッション講演募集用のカテゴリ表を参考にしてください。

■オーガナイザにご担当頂く事項

- 発表募集の広報（企画セッションの概要は全国大会 web ページに掲載されます）
- 企画セッションのプログラム（発表順）の決定
- 当日のセッション運営（座長の選定はオーガナイザに行っていただきます）

■お申し込み方法

以下の項目をご記入の上、全国大会委員会プログラム部会(jsise-taikai-pc@jsise.org)宛まで電子メールにてお申し込みください。

- テーマ（企画セッション名）
- 概要（400文字程度）
- テーマが該当するカテゴリ、分野（カテゴリ表より選択、多くて2,3個を目安としてください）
- テーマが該当するキーワード（カテゴリ表中のキーワード）
- テーマ独自のキーワード
- オーガナイザ全員の氏名と所属、代表者の連絡先（電子メールアドレスなど）

※オーガナイザは教育システム情報学会会員に限ります。

■申込期限

2016年2月25日(木)

(2016年3月4日(金)までに採録結果を通知いたします)

一般セッション講演募集用のカテゴリ表

議論観点	カテゴリ	分野名 (発表時にはここだけ選択してもらいます。プログラム編成においてセッション名として使います)	キーワード (分野選択時の参考にしてください。ただし、各分野の発表はこれらに限るものではありません)
支援対象	設計	授業設計・ インストラクショナルデザイン	授業研究, 学習理論, 教育方法, カリキュラム・デザイン, 授業評価, 授業実践, シラバス, 研修設計
	設計	学習環境デザイン	デザイン研究, 学習科学
	教育・学習手法	遠隔教育	通信教育, 国際交流, 交流学习, 異文化交流
	教育・学習手法	ブレンディッド学習	反転授業, eラーニング授業利用
	教育・学習手法	連携型教育	小中連携, 中高連携, 高大連携, 大学間連携, 科目間連携, 地域連携
	教育・学習手法	協調学習	コミュニティ支援, コミュニケーション支援, グループ学習, ディスカッション支援
	教育・学習手法	アクティブラーニング	作問学習, PBL, クリッカー
	分析・評価	学習者特性・行動分析	ポートフォリオ, アフェクティブラーニング, 質的分析, 学習履歴分析, レディネス, 生体情報, レスポンス分析, 教学インスティテューショナル・リサーチ(IR)
	評価	学習評価・アセスメント	リフレクション, ルーブリック, テスト理論, 質の評価, 適応型テスト, 数理解モデル, ピアアセスメント, グループワーク評価
	対象別教育	HRD・生涯学習	リカレント教育, 社会人教育, 企業内教育/研修, 異文化理解
	対象別教育	高等教育	キャリア教育, 質保証, リメディアル, 初年次教育, ファカルティ・デベロップメント(FD), 研究活動支援
	対象別教育	初等中等教育	言語活動, 教科指導, 授業実践, 教師教育
	領域別教育	プログラミング教育	アルゴリズム理解, ビジュアルプログラミング, プログラミング言語教育, オブジェクト指向教育
		情報技術教育	ネットワーク教育, データベース教育, 組み込みシステム教育, モデリング教育
		語学教育	日本語学習, 外国語学習, 聴解学習, 発話学習, 作文教育, 読解教育, 語彙・単語学習, 文法教育
		教科教育	教科情報, その他教科
		特別支援教育	インクルーシブ教育, LD, ADHD, 発達障害, 院内学級, 身体障害, 知的障害者
		スキル学習	身体知, 経験知, 学習スキル, メタ認知, 問題解決支援
		医療・看護・福祉教育	カウンセリング, ボランティア, 介護, 理学療法, 保育
		情報リテラシー	プレゼンテーション支援, コンピュータ操作, 情報倫理, セキュリティ, 情報モラル
技術		ICT 活用	マルチメディア活用
	ソーシャルメディア活用		ソーシャルブックマーク, SNS, BLOG, マイクロ BLOG
	デバイス活用		モバイル, タブレット, ユビキタス, ウェアラブル
	プラットフォーム活用		LMS, eポートフォリオ, CMS, テレビ会議システム
	技術開発・運用	プラットフォーム開発	LMS, CMS, プラグイン, CSCL, eポートフォリオ, eテストング, API, データフォーマット, デバイス, テレビ会議システム, クラウド利用
		インフラストラクチャ	認証, ネットワーク構築, センサネットワーク, クラウド, セキュリティ, システム連携, 仮想化, データ運用管理
		コンテンツ作成支援	コンテンツ・オーサリング, カリキュラム・オーサリング, コンテンツ自動生成, SCORM, LOM
	先進的学習支援技術	先進的学習支援	アフェクティブコンピューティング, エージェント, 機械学習, 情報検索, 適応的支援, ナビゲーション支援, リフレクション支援, 情報推薦, ゲームフィケーション
		分析技術	テスト理論, データマイニング, ラーニングアナリティクス, ビッグデータ
		モデリング技術	メタ認知, 学習科学, 学習者モデル, 認知ツール, 数理解モデル, ドメインモデリング
	ユーザインタフェース	仮想現実(VR), 拡張現実(AR), HCI, 視線入力, ヘッドマウントディスプレイ(HMD), ジェスチャ入力, 3D, 可視化, センサーデバイス, 音声入力, シミュレーション, マイクロワールド, 擬人化技術, アウェアネス, テレイグジスタンス	
その他	その他	その他	

**教育システム情報学会 (JSiSE)
2016 年度 第 1 回研究会 講演募集**

教育システム情報学会

担当：櫻井良樹，仲林清，松居辰則，北村士朗，真嶋由貴恵，加藤泰久，森本容介（研究会委員会）

■テーマ：

学習環境デザインと Learning Analytics・学習サービス／
医療・看護・福祉における先進的 ICT 利用／一般

■開催日時：2016 年 5 月 14 日（土）

■会場：放送大学（千葉市美浜区若葉 2-11）

総武線幕張駅，京成千葉線幕張駅，徒歩 15 分

または京葉線海浜幕張駅下車 徒歩 15 分

<http://www.ouj.ac.jp/hp/gaiyo/access.html>

※学習分析学会(JASLA)研究会と合同開催です。

■主旨：

本年度第 1 回研究会は、「学習環境デザインと Learning Analytics・学習サービス／医療・看護・福祉における先進的 ICT 利用／一般」のテーマで実施いたします。

「学習環境デザインと Learning Analytics・学習サービス」に関しては，企業や大学における人材開発や組織マネジメントとの連携，学習コンテンツ設計，インストラクショナルデザイン，品質評価，学習者支援，ブレンデッドラーニング，インフォーマルラーニングなどの方法論，eラーニングツール，システム，実践環境に関する提案・開発・応用など幅広いトピックスに関するご発表を募集いたします。

特に，Learning Analytics の理論・技術・実践に関する幅広い発表を募集し，その可能性や課題について議論したいと思います。さらに，学習・教育を「サービス」の観点から捉え直し，動的かつ非構造的な知識や技術を適応的・持続的に学ぶための学習環境デザイン，長期的な視点からの学習評価法についても本学会の新しいトピックスとして議論したいと思います。萌芽的な取り組みに関する発表を歓迎いたします。

「医療・看護・福祉分野における ICT 利用教育」に関しては，これまで，人を対象とするこの分野には，コンピュータなどの ICT の活用はなじまないとされてきました。しかし，一方では，マルチメディアを活用した eラーニングが多くの医療系大学や病院などに導入され，ICT を活用して膨大な知識の効率的な学習，新しい知識の定着，医療・看護技術の習得などで，高い学習効果が得られたことが報告されています。

また、医療人育成のために体系化された教育プログラムにこそ e ラーニングや ICT の活用が効果的である、との声も聞かれるようになってきました。そこで本研究会では、医療・看護・福祉分野において求められている高い実践能力をもつ人材の育成やナレッジマネジメント、学習者支援、学習コンテンツの設計、インストラクショナルデザイン、医療サービスの質保証ならびに質評価、e ラーニング教材制作、臨床や教育機関での実践・運営環境、著作権処理に関する様々なトピックを扱い、この分野における専門職教育に必要な知識や技能を習得するための ICT 活用教育方法について、議論を進めていきたいと思えます。

その他、教育システムに関する幅広い分野からの発表も歓迎致します。

初中等教育、高等教育、企業教育などの分野から、多くの方々の発表をお待ちしております。

なお、第1回研究会では、論文形式の原稿を伴わない発表も受け付けます。

各種の実践事例やシステム・製品に関して、気軽に情報提供を行い聴衆の方と意見交換を行いたい方は、ぜひご活用下さい。

★発表にあたってはいくつか注意事項がございますので、下記をご覧ください。

■発表申込み：※発表申込み締切：2016年3月22日(火)

以下の事項を電子メールにてお送りください。

1. 発表タイトル
2. 発表者・所属（登壇者に○）
3. 発表概要（100字程度）
4. 連絡先住所・氏名・電子メールアドレス
5. 論文原稿の有無
6. その他（使用機器など）
7. 申込先：
放送大学
森本 容介
E-mail : morimoto@ouj.ac.jp

■発表原稿の提出：※発表原稿提出締切：2016年4月11日(月)

上記 5 で、「論文原稿有」を選んだ方は以下の要領で原稿を作成して下さい。

1. 原稿は A4 用紙で、2 枚以上 8 枚以下の偶数枚でお願いします。
2. 原稿は、学会 Web サイトの研究会開催案内ページの下部に掲載しております
「研究会報告執筆要領・見本」をご確認ください。

<http://www.jsise.org/society/format.html>

3. 原稿送付先
放送大学
森本 容介

E-mail : morimoto@ouj.ac.jp

※電子データをメールで送付してください。

フォント埋め込みされた PDF 形式をお願いします。

予め印刷して、文字化けがないことを確認して下さい。

4. 発表時間は 25 分（発表 20 分，質疑 5 分）を予定しております。

■論文原稿無の方へのお願い： 上記 5 で、「論文原稿無」を選んだ方は以下の要領で発表を準備して下さい。

- ・発表時間は 15 分（予定）です。発表，質疑，意見交換等を自由にアレンジしてください。
- ・発表時には必ず資料の配布をお願い致します。形式は任意です。
- ・配布資料は各自で準備をお願いいたします。学会では印刷を致しません。
- ・システムや製品のデモンストレーションをしていただいても構いません。
この場合も事前に担当者にご相談ください。

■懇親会

研究会終了後，懇親会を開催する予定です。会費は 4～5000 円の予定です。

■お問い合わせ先：

熊本大学 社会文化科学研究科 教授システム専攻

櫻井 良樹

E-mail : y-sakurai@mwd.biglobe.ne.jp

～ 2016 年度 研究会開催予定 ～

<p>第 1 回研究会（担当：櫻井良樹，仲林清，松居辰則，北村士朗，真嶋由貴恵，加藤泰久，森本容介）</p> <p>◆ テーマ：学習環境デザインと Learning Analytics・学習サービス／ 医療・看護・福祉における先進的 ICT 利用／一般</p> <p>◆ 日 程：5 月 1 4 日（土）</p> <p>◆ 場 所：放送大学</p> <p>※ 学習分析学会（JASLA）研究会との合同開催</p>
<p>第 2 回研究会（担当：小松川浩，野崎造成，布施 泉，不破 泰，金子大輔）</p> <p>◆ テーマ：ICT を活用した学習支援と教育の質保証／一般</p> <p>◆ 日 程：7 月上旬～中旬（土曜 or 日曜）</p> <p>◆ 場 所：千歳科学技術大学</p>
<p>第 3 回研究会（担当：小西達裕，林 敏浩，安間文彦）</p> <p>◆ テーマ：ICT を利活用した高等教育機関の教育連携／一般</p> <p>◆ 日 程：9 月下旬</p> <p>◆ 場 所：香川大学 幸町キャンパス あるいは 林町キャンパス</p>
<p>第 4 回研究会（担当：小尻智子，曾我真人，長谷川忍，柏原昭博）</p> <p>◆ テーマ：身体知・経験知に関わる学習支援／一般</p> <p>◆ 日 程：1 1 月 1 2 日（土）</p> <p>◆ 場 所：和歌山大学</p>
<p>第 5 回研究会（担当：光原弘幸，佐々木整，三石 大）</p> <p>◆ テーマ：新技術による教育・学習環境の構築と教授設計／一般</p> <p>◆ 日 程：1 月 7 日（土）</p> <p>◆ 場 所：愛媛大学</p>
<p>第 6 回研究会（担当：西野和典，鷹岡亮，浅羽修丈，西端律子）</p> <p>◆ テーマ：ICT を活用したアクティブ・ラーニング／新教育課程／一般</p> <p>◆ 日 程：3 月 1 8 日（土）</p> <p>◆ 場 所：北九州市立大学</p> <p>※ 特集研究会と同時開催</p>

「2015 年度 JSiSE 学生研究発表会」のお知らせ（第二報）

教育システム情報学会 人材育成委員会

メーリングリスト、Facebook 等でアナウンスしましたように、各地域での開催日時・場所が確定しました。原稿提出締め切りは2月15日です。ご不明な点は、各開催地区の実行委員長にお尋ね下さい。発表者の方で、原稿提出に関する情報は、学会ホームページを御覧ください。

(<http://www.jsise.org/society/presentation/index.html>)

開催地区・開催都市	日時	開催場所・実行委員長（連絡先）
北海道 千歳市	3月5日（土）	千歳科学技術大学 小松川浩（千歳科学技術大学） hiroshi@photon.chitose.ac.jp
北信越 富山市	2月27日（土）	富山大学 ※本発表会にあわせて若手研究者育成ワークショップを開催予定 新村正明（信州大学） hse-submit@jsise.org
東海 名古屋市	2月29日（月）	名城大学名駅サテライト（MSAT） 吉根勝美（南山大学） kyoshine@nanzan-u.ac.jp
関西 大阪市	3月4日（金）	関西学院大学大阪梅田キャンパス 中西通雄（大阪工業大学） naka@is.oit.ac.jp
中国 広島市	2月29日（月）	広島市立大学サテライトキャンパス 岡本勝（広島市立大学） okamoto@hiroshima-cu.ac.jp
四国 高松市	3月4日（金）	香川大学幸町キャンパス 林敏浩（香川大学） hayashi@eng.kagawa-u.ac.jp
九州 長崎市	3月1日（火）	長崎大学文教キャンパス 坪倉篤志（日本文理大学） tsubokura@nbu.ac.jp
沖縄 那覇市	3月4日（金）	琉球大学総合情報処理センター2F 第3実習室 谷口祐治（琉球大学） taniguchi@cc.u-ryukyu.ac.jp

参加費は無料です。

各地区のプログラムならびに発表原稿のPDFファイルは、学会ホームページにて公開します。

発表会場には、印刷した予稿集はございません。発表原稿閲覧用のパスワードは、会員向けメーリングリストにてお知らせする予定です。

教育システム情報学会誌

特集号論文募集

—能動的・自律的な学びを支援する学習環境の設計・構築・実践—

近年、PBL (Project/Problem-based Learning)、反転学習など、学習者の能動的な学習を促すための学習・教育手法やその中での ICT の活用が注目されています。大学だけではなく初等・中等教育機関においても、組織的にこのような学習形態を取り入れる事例も増加しています。また、職場での学びやアルバイト・ボランティアなどインフォーマルな経験を通じた学びの重要性に関する認識も高まっています。

これらの学習・教育は大きな効果が期待される一方で、綿密な教授設計を行わないと、かえって教育効果が低下してしまうことも起こります。また経験を通じた学びは偶発的な要因に左右されるため、教育効果を担保することは非常に困難です。

以上のような状況を踏まえ、今回、「能動的・自律的な学びを支援する学習環境の設計・構築・実践」に関する特集号を企画いたしました。当該分野における新たな教育支援技術、ならびに当該分野の技術を応用した教育実践に関する研究開発の論文を幅広く募りますので、奮ってご投稿ください。

1. 対象分野

「能動的・自律的な学びを支援する学習環境の設計・構築・支援」に関する研究論文を幅広く募集します。キーワードは、次の通りですが、これに限定されるわけではありません。また、「能動的な学び」、「自律的な学び」のいずれかに関わる学習支援環境の研究であれば、本特集号の対象となります。

アクティブラーニング、自己調整学習、Project-Based Learning、Problem-Based Learning、反転授業、オンデマンド学習、学習空間デザイン、インフォーマルラーニング、経験学習、CMC(Computer-Mediated Communication)、ソーシャルメディア、ソーシャルラーニング、コミュニケーション支援、学習ポートフォリオ、学習ログ収集・分析、協調学習、協働学習、CSCL/S、インストラクショナルデザイン、FD/SD、LMS/CMS、ブレンディッドラーニング、モバイル端末、授業支援、レスポンスシステム、オープンエデュケーション、MOOCS、ピアレビューなど

2. 論文種別

通常と同様、すべての種別（原著論文、実践論文、ショートノート、実践速報）の論文を募集します。なお、査読結果により、異なる種別での採録となる場合もあります。また、編集委員会の判断で、一般投稿論文として扱うことになる場合もあります。あらかじめご了承ください。

3. 投稿要領

教育システム情報学会誌原稿執筆要領に準じます。詳細は教育システム情報学会の Web ページで確認してください。Web 投稿の際には以下の点にご注意ください。

- 「投稿種別」で「特集号」を必ず選択してください。
- 特集研究会（2016年3月19日（土）開催予定）で発表を行った方は、投稿情報入力の際に「事務局への連絡事項」の欄に、特集研究会での発表題目と発表番号を記載してください。
- 英文で投稿される場合は、本会英文誌へ投稿してください。英文誌においても同一特集名の特集号論文として取り扱い、和文誌と同様のスケジュールで査読を行います。
英文誌ホームページ：http://www.jsise.org/journal/journal_en.html

4. スケジュール

- 特集研究会：2016年3月19日（土）
会場：東京工芸大学中野キャンパス
発表申込締切：2016年1月中旬／原稿提出締切：2016年2月初旬
- 投稿論文原稿〆切：2016年6月6日（月）
- 掲載予定巻号：2017年4月1日発行予定の学会誌（Vol.34, No.2）
（採録通知送付予定：2016年11月初旬頃）

5. 特集号編集委員会

委員長：小西達裕（静岡大学）

副委員長：瀬田和久（大阪府立大学）、西野和典（九州工業大学）

幹事：森本康彦（東京学芸大学）、根本淳子（愛媛大学）、笠井俊信（岡山大学）、光原弘幸（徳島大学）、
國宗永佳（信州大学）

委員：学会誌編集委員

6. 問い合わせ

- 特集号全般に関する問い合わせ：
特集号編集委員会副委員長 瀬田和久（大阪府立大学）
E-mail: seta@mi.s.osakafu-u.ac.jp
- Web 投稿に関する問い合わせ：
教育システム情報学会編集事務局
電話：03-5389-6492, E-mail: jsise-edit@bunken.co.jp
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 4-4-19 株式会社国際文献社 長澤

東海支部より活動報告

[講演会]

■日時：2015年12月5日(土) 東海支部役員会後，16時より

■会場：南山大学名古屋キャンパス

■講師：若月徹 先生（藤田保健衛生大学）

演題：医学部の現状と藤田保健衛生大学での取り組み

日本の医師養成システムなどの紹介と藤田保健衛生大学における医学教育への情報システム支援およびeラーニングの活用と課題について講演があった。

関西支部より活動報告

関西支部主催「機械学習勉強会」開催案内

■日時：平成28年2月27日(土曜) 13時～17時

■会場：近畿大学東大阪キャンパス 38号館2F 第5情報処理実習室

■主催：教育システム情報学会関西支部，Google Developer Group 京都

■募集定員：50名

■概要：

昨今話題となっている機械学習技術の基礎ならびに応用を学ぶ勉強会を開催します。本勉強会は学術的なアプローチと応用アプローチの両面から機械学習を学ぶために、後半では、Google公認の技術コミュニティであるGoogle Developer Group 京都のよる各種ツールの利用や応用について紹介してもらいます。奮ってご参加下さい。

■申込方法

関西支部のウェブサイトまたは開催幹事のサイト (<http://www.ochi-lab.org/mllearn201602>) にて告知します。

■問い合わせ

開催幹事の近畿大学・越智洋司 (ochi@ele.kindai.ac.jp) まで

(文責：近畿大学・越智洋司)

平成27年度第2回関西支部若手研究者フォーラム開催の報告

■日時：平成27年11月1日（日）

■会場：日本文理大学

■概要：

いろいろな地域の若手研究者との交流を図るため、平成27年度第2回の若手研究者フォーラムは、日本文理大学（大分県）にて開催しました。九州地区、関西地区はもちろんのこと東京からもご参加いただき、総勢16名となりました。当日のプログラムは以下の通りです。

9：20～9：50

e-ラーニングシステムの多様な機能を活用したAL型授業の取り組み

庄司一也（滋賀大学経済学部・特任講師）

9：50～10：20

HTML5を用いた佐賀大学内の案内アプリケーションの試作

奥暁大（佐賀大学大学院工学系研究科・修士1年）

10：35～10：50

一人2～3分のLT

10：50～11：20

学生にとって便利なのは、BYODなのかCOPEなのか！？

西端律子（畿央大学）

LT大会では、参加者全員がそれぞれの研究内容を紹介しました。若手研究者にとっては発表の練習や人脈を広げる機会となりました。関西支部若手研究者フォーラムは毎年2回開催予定です。前期は実習やハンズオンを中心に、後期は研究発表を中心に企画します。年齢制限はありません。ふるってご参加ご発表ください。また、実習やハンズオンの企画のリクエストもおまちしております。



（お世話役：畿央大学・西端律子）

Facebook ページを運用しています

教育システム情報学会では Facebook ページを運用しています。本ページでは、

- ・論文・発表募集
- ・本学会に関連するイベントの情報

などを、いち早くお届けします。ぜひ、ご覧下さい。

Facebook ユーザの方は、ぜひ、「いいね」をお願いいたします。

◇ 2016 年 1 月 31 日現在、いいね 177 件

<https://www.facebook.com/jsise.org/>

facebook アカウント登録

メールアドレスまたは携帯番号 パスワード

ログイン

ログインしたままにする パスワードを忘れた場合はこちら

Facebookページを作成

最近

2015年

2014年

1974年

教育システム情報学会
さんはFacebookを利用しています。
Facebookに登録して、教育システム情報学会さんや他の友達と交流を深めましょう。

アカウント登録 ログイン

Japanese Society for Information and Systems in Education

JSiSE
一般社団法人
教育システム情報学会
団体

教育システム情報学会

タイムライン 基本データ 写真 いいね! 動画

ユーザー >

いいね! 175件

情報 >

東京都新宿区
山吹町358-5 アカデミーセンター

教育システム情報学会
15時間前 · 🌐

2016年度 全国大会 企画セッション テーマ募集のご案内
教育システム情報学会 全国大会委員会
委員長 小松川 浩... もっと見る

藤岡 直さん, Masaru Okamotoさん, 菅谷 隆弘さん, 他7人が「い... 人気のコメン...

学会誌・研究報告バックナンバーのお求めは

学会誌・研究報告のバックナンバーを購入ご希望の方は、(株)毎日学術フォーラムまでお申し込みください。

株式会社 毎日学術フォーラム
〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル 2階
TEL : 03-6267-4550 / FAX : 03-6267-4555
Mail : maf-sales@mycom.co.jp / URL : <http://maf.mycom.co.jp>

- JSiSE 会員の方で「研究報告」の年間購読をご希望の方は、事務局分室までご連絡ください。
この機会にぜひ年間購読されますようおすすめいたします。
- 年間購読料 4,000 円/年 6 回発行<送料込>

新 入 会 員 募 集

一般社団法人教育システム情報学会は、教育分野における情報通信技術の利用に関する学術研究・調査および情報交換を支援し、教育への情報通信技術の利用を普及させることをその目的としています。

定期的開催される研究会・セミナーなどに、研究成果を発表できることや、そのほか、定期刊行物の論文誌、研究報告書(年間購読お申し込みの方)などがお手元に届きます。

教育分野における情報通信技術の利用に関する学術研究に興味のあるお知り合いの方がおられましたら、是非ご紹介をいただきますようお願い申し上げます。

■お申し込み方法■

入会をご希望の方は、入会申込書を学会 Web ページ (<http://www.jsise.org/>) に掲載しておりますので (PDF ファイル) ダウンロードしていただき、必要事項をご記入の上、事務局分室にご郵送または、FAX か、メールにてお送りいただきますようお願いいたします。

ご入会の手続きをいたしますので、後日、事務局から入会金や年会費のお支払い方法などの詳しい資料を送付します。

☆キャンペーン☆

※現在、本学会開催の研究会等で、会場にて新規お申し込みいただいた方には、
入会金を無料にさせて頂くというキャンペーンを行っております。
そちらも、合わせてご案内いただきますようお願いいたします。

■学会事務局分室■

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター
一般社団法人教育システム情報学会 事務局分室 宛
TEL 03-5937-5816
FAX 03-3368-2822
Email : secretariat@jsise.org

再度お知らせいたします

事務局より

教育システム情報学会会員 各位

一般社団法人教育システム情報学会
会長 仲林 清
事務局長 家本 修

会費納入のお願い

教育システム情報学会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より本学会の活動にご理解、ご協力賜り、誠にありがとうございます。

2015年度の年会費請求書に関しましては以前ご案内させて頂いた通り、2015年4月1日付にて発行いたしました。まだ、会費納入手続きを済まされていない会員の皆様におかれましては、以下の会員専用ページから会員様ご本人により、ダウンロードしていただきますようお願いいたします。また、ご納付には、クレジットカードでのお支払いをお薦めしております。是非ご協力頂きますようお願いいたします。

年会費未納の会員様につきましては、2014年度以前の未納が続きますと、ご入金を確認できるまで、学会発送物をお止めさせて頂く場合がございます。また、定款の定めにより除名手続きを進めさせていただくこととなります。未納のある会員様は事務局分室までご連絡をいただければ、期日を過ぎましても受け付けておりますので宜しくお願い致します。

会員専用ページのご案内

会員専用ページ URL : <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページのURLは、会員情報管理システムの業務委託をしております、株式会社国際文献社のものになります。

■会員専用ページでは、以下のことが可能になります。

1. 会員個人ページでの、現在の登録情報の確認・変更
2. 年会費納入状況の確認
3. 会費の納入、クレジットカード/コンビニ決済
4. パスワードの変更

会員種別、フリガナ、研究報告年間購読の登録等はマイページでは変更できませんので、お手数ですが下記事務局分室までご連絡をお願い致します。

ログインには、名簿システム（2015年1月にログイン）でご利用いただいたIDとパスワードが必要となります。

パスワードをお忘れになった場合は、上記ウェブサイトにて照会できます。

何かご不明な点がございましたら、JSiSE事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡ください。

今後とも教育システム情報学会の活動にご理解ご協力のほど、何卒よろしくようお願い申し上げます。

■お問い合わせ先

教育システム情報学会（JSiSE事務局分室）

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター

Tel:03-5937-5816 Fax:03-3368-2822 Email : secretariat@jsise.org

新入会員の紹介

下記の皆様が新しくご入会されました。 2015/11～2016/1

会員名	会員種別	会員名	会員種別	会員名	会員種別
竹中 章勝	正会員	高木 大輔	学生会員	菊地 夢二	学生会員
佐々木 春光	賛助会員からの正会員	青山 泰之	賛助会員からの正会員	ボーダレス・ビジョン株式会社	賛助会員
合 計					
正会員	3名	学生会員	2名	賛助会員	1名